

作成日 2008年 3月13日
改訂日 2017年12月16日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	KZ コンパウンド
製品コード	005516
会社名	都インキ株式会社
住所	大阪市鶴見区放出東1-7-13
担当部門	技術課
担当者	中田 敦嗣
電話番号	06-6961-0101
FAX 番号	06-6961-0303
メールアドレス	gijutu_nakata@miyakoink.co.jp
緊急連絡先電話番号	06-6961-0101
推奨用途及び使用上の制限	油性オフセットインキ用助剤
整理番号	Z-105-01

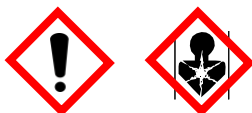
2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
健康有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	区分4
	皮膚腐食性・刺激性	区分3
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分外
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分2（肺）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分1（肺、皮膚）	
環境有害性	吸引性呼吸器有害性	区分外
	水生環境有害性（急性）	分類できない
	水生環境有害性（慢性）	分類できない

GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

吸入すると有害

軽度の皮膚刺激

眼刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

臓器（肺）の障害の恐れ

長期または反復暴露による臓器（肺、皮膚）の障害

注意書き

安全対策

- 容器を密閉しておくこと。
- 保護手袋／保護眼鏡／保護マスクを着用すること。
- 取り扱い後は手をよく洗うこと。
- 環境への放出を避けること。

応急措置

- 目に入った場合：直ちに多量の水で15分間以上洗い流し、眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄し、直ちに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた場合には、医師の手当てを受ける。

廃棄

- 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：オフセットインキ用助剤

成分及び含有量

化学名	含有量%	化学式	官報公示No. (化審法・安衛法)	CAS No.
鋳油*	40-50	特定できない	非開示	非開示

*：労働安全衛生法通知対象物

毒劇法の該当：非該当

4. 応急措置

- 吸入した場合：ミストを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせ、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた場合には、医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合：直ちに多量の水で15分間以上洗い流し、眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄させ、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液

使ってはならない消火剤：水

特有の消火方法：

- ・速やかに容器を安全な場所に移す。
- ・移動不可能な場合には容器及び周囲に散水して冷却する。
- ・指定の消火剤を用いて消火する。

消火を行なう者の保護：消火作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

- ・風下の人を退避させる。漏出した場所の周囲にはロープを張るなどして、人の立入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- ・作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。
- ・屋内の場合には処理が終わるまで十分に換気を行う。

環境に対する注意事項：

- ・濃厚な洗浄廃液が河川に排出しないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

- ・漏出した液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、密栓可能な空容器に出来るだけ回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。その場合、中性洗剤等の分散剤を使用して洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

安全取扱い注意事項

- ・取扱場所は火気厳禁とし、作業場は換気を十分に行う。吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。作業衣等に付着した場合はその汚れを落とし、取り扱い後は手洗いとうがいを十分に行う。

保管：

適切な保管条件

- ・容器は密栓して、換気良好な冷暗所に貯蔵する。
- ・指定数量以上の場合には火災予防条例に従う。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：屋内作業中時は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。

管理濃度及び許容濃度

化学物質の名称	管理濃度	ACGIH	日本産業衛生学会
鉍油	設定されていない	(オイルミスト) 5mg/m ³	(オイルミスト) 3mg/m ³

保護具：有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、耐油性保護手袋、保護長靴等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

製品の物理的及び化学的性質

外観

形状：固体

色：淡褐色

臭気：油臭

pH：該当しない

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

融点・凝固点：データなし

初留点：データなし

沸点：275℃

引火点：132℃以上

比重：データなし

自然発火温度：データなし

燃焼又は爆発範囲：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし

粘度：5-15dPa.s (25℃)

溶解性：水に難溶、有機溶剤に可溶

オクタノール／水分配係数：データなし

分解温度：データなし

成分の物理的及び化学的性質

成分の名称	沸点 (°C)	比重 (g/cm ³) (15°C)	水への溶解性	相対蒸気密度 (空気=1)	引火点 (°C) (COC)	発火温度 (°C) (参考値)	爆発限界 Vol% (推定値)	Logpow (オクタノール/水分配係数)	出典
鉍油	275-306	0.815	不溶	データ無し	132	200-410	上限7% 下限1%	データ無し	※

※ 原材料のMSDS

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性：空気と接触して徐々に酸化重合する。

この製品（またはこの製品を含有する塗料・印刷インキ等）の乾燥皮膜、及びこの製品を拭き取ったウエス等は水の張った不燃性の容器に入れて蓋をする。

避けるべき条件：高温、過熱。

混触危険物質：第一類、第六類の危険物、及び高压ガスとの混触は避ける。

危険有害な分解生成物：燃焼によりCO、NO_x等の有害ガスが発生する。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報：

製品としての情報なし

成分の有害性情報（GHS分類結果）

成分の名称	急性毒性 (経口) mg/kg	急性毒性 (経皮) mg/kg	急性毒性 (吸入/気体) mg/kg	急性毒性 (吸入/蒸気) mg/kg	急性毒性 (吸入/粉塵, ミスト) mg/kg
鉍油	区分外	区分外	分類対象外	分類できない	区分4

成分の名称	皮膚腐食性/ 刺激性	眼に対する 重篤な損傷/ 眼刺激性	呼吸器 感作性	皮膚感作性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性
鉍油	区分3	区分2B	分類できない	区分外	区分2	区分外	分類できない

成分の名称	特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	吸引性呼吸器有害性
鉍油	区分2 (肺)	区分1 (肺、皮膚)	区分外

12. 環境影響情報

製品としての環境影響情報：

- ・生体毒性：製品としての情報なし
- ・残留性/分解性：製品としての情報なし
- ・生体蓄積性：製品としての情報なし
- ・土壌中の移動性：製品としての情報なし

成分の名称	水生環境有害性 (急性)	水生環境有害性 (慢性)
鉍油	分類できない	分類できない

13. 廃棄上の注意

- ・ドラム缶等に入れ、横転しても内容物が外部へ流出しないように密栓する。
- ・焼却する場合は産業廃棄物処理基準に従って焼却する。
- ・外部委託の場合は廃油（可燃性）であることを明記し、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

注意事項：

- ・容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
- ・消防法の危険等級Ⅲに準ずる運搬容器に収納して運搬する。

国連分類：国連分類の定義上危険物に該当しない。

国連番号：該当なし

指針番号：133

15. 適用法令

- ・火災予防条例：指定可燃物 可燃性固体類
- ・労働安全衛生法：通知対象物
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・道路法（水底トンネル、長大トンネル等における積載制限対象危険物）
- ・水質汚濁防止法
- ・海洋汚染防止法

16. その他

参考資料

- 1) A C G I H (2006年)
- 2) 日本産業衛生学会 (2006～2007年) <http://joh.med.uoeh-u.ac.jp/oel/index.html>
- 3) I C S C C A R D <http://www.nihs.go.jp/ICSC>
- 4) 神奈川県環境研究所データベース <http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp>
- 5) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
<http://www.safe.nite.go.jp/ghs/ghsi.html>
- 6) 原料MSDS
- 7) 製品安全データシート作成指針（日本化学工業協会）
- 8) 製品安全データシート作成資料 JIS Z7250-2005対応（インキ工業会）
- 9) I A R C (Vol.1～85)

問い合わせ先

担当部門 技術課

電話番号 06-6961-0101 F A X 番号 06-6961-0303

メールアドレス gijutu_nakata@miyakoink.co.jp

記載内容の変更等

- ・記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成されている。
- ・法令の改正や新しい知見、情報により、記載内容が予告なしに改訂されることがある。
- ・取扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実際に即した安全対策を講じること。
- ・この「製品安全データシート（MSDS）」は、安全や品質の保証書ではない。